



平成25年度地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策に関する研修会

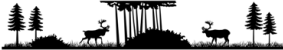
「地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策の事例」



富士宮市農政課 渡辺清史
NPO法人ホールアース研究所 井戸直樹

- 1) 富士宮市での地域ぐるみの取り組みの全体像と役割分担
- 2) 平成24年度環境省地域ぐるみの捕獲推進モデル事業について



ホールアース自然学校の紹介

- ・設立: 1982年
- ・年間参加者数: 80,000人
- ・スタッフ数: 36人(研修生含む)
※日本の自然学校総数3000校の草分け、規模は最大
- ・業務内容:
 - ① 自然体験型環境教育プログラムの開発・実施
 - ② 地域資源の調査・研究
 - ③ 人材育成
 - ④ 災害救援活動
 - ⑤ 国際協力
 - ⑥ 観光交流による地域振興
 - ⑦ CSR支援
- ・特徴:
純民間組織・独立自営・社会運動




自然体験型環境教育プログラムの開発・実施

- 主催プログラム
年間100回を超える主催事業
(自然体験、食農体験、冒険プログラム etc.)
- エコツアー
富士山・沖縄にて
(洞窟、富士山五合目、沢登り、カヌー等)
- キャンプ
遊牧民キャンプ(83年~)
(期間: 2日~14日、対象: 幼児・子ども・親子)
- 教育旅行
年間400校・25,000人を超える団体受入
(修学旅行・林間学校)










社会課題に対する取り組み

- 農業法人の設立
- 森づくり活動
人工林整備活動、竹林整備活動
- 健康増進活動
富士山カラダの学校
- 鳥獣被害対策に関する活動









地域資源の調査・研究

- フィールド調査
 - ・動植物・鳥類調査
 - ・エコツアーフィールド踏査調査
 - 基礎調査・モニタリング
- 保全と利用の仕組み作り
 - ・ガイドラインの策定と運用
 - ・地域協議会の設置
 - キャリングキャパシティ
- 地域振興のための観光資源発掘調査
 - ・プログラム資源調査
(南アルプス、やんばる他多数)
 - プログラム開発に運動
- 社有林活用のためのポテンシャル調査
 - ・企業所有の森林活用
 - プログラム開発に運動(CSR連携)

人材育成

質の高い自然体験活動を実施できる指導者を養成


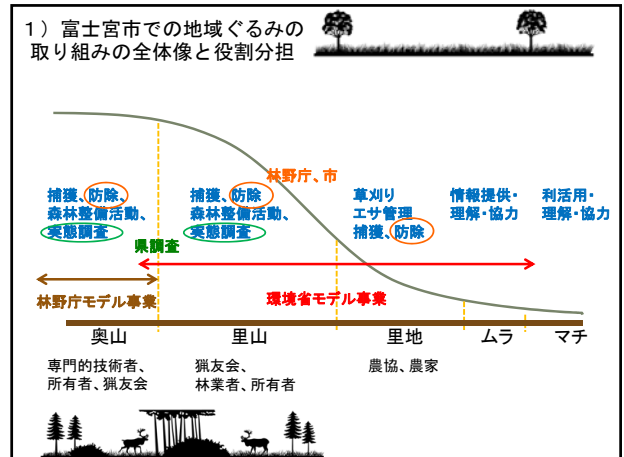
【アマチュア・大人対象】
《自然学校講座:3コース》
・四季コース・体験入校コース・生き方暮らし方コース

【アマチュア・大学生対象】
《学生リーダー制度》
・キャンプリーダーの育成(年12回+α)

【プロ養成・大人対象】
《ホールアース研修所》
・12ヶ月OJT=自然学校で必要なスキルを学ぶ
・年間約200日のフィールド経験

【エコインストラクター研修:環境省事業】
・6ヶ月OJT=全国の自然学校と連携

【受託研修】
・クライアントの要望に合わせて研修を組み立て 等


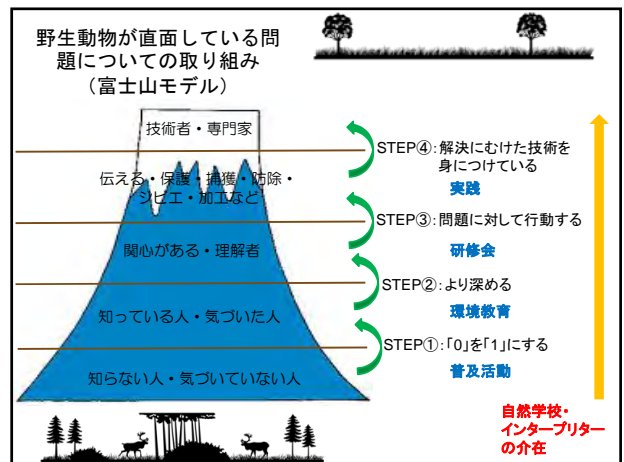



2) 環境省地域ぐるみの捕獲推進モデル事業について

★「富士宮市型わな捕獲推進体制育成モデル事業」の趣旨とねらい

「狩猟免許所持者の負担を軽減し、また、地域住民の捕獲事業への参画を推進させ、地域全体で鳥獣被害対策に取り組む」

「地域で、狩猟免許を持っていない人を、いかに捕獲事業へ参画させるか、という場や仕組みをつくるための事業」

「富士宮市型わな捕獲推進体制育成モデル事業」

概要: 地域において将来的に継続して鳥獣の保護管理に取り組めるよう、わな捕獲体制の構築及び、鳥獣保護管理に携わる人材の確保と育成を目的として、協議会を設置して、わな捕獲技術の講習会等を実施する。



i) わな猟技術講習会 (全8回) **ステップ④**

ii) イズシカ問屋解体研修 (全3回) **ステップ③**

iii) シビエ料理研修会 (全3回) **ステップ③**

iv) 野生動物環境教育プログラム **ステップ②**


v) 普及活動イベント **ステップ①**

わな猟技術講習会

・座学～見切り～わな実習～見回り～止めさし～解体まで ・2～4日間の講習会


- 11月9～11日: 農家向け@国有林
講師: 富士宮猟友会 参加者: 14名
- 11月13～14、17～18: 林業従事者向け@西富士猟区
講師: 西富士山麓猟友会 参加者: 10名
- 11月6、12、20日: 未経験狩猟者向け@国有林
講師: NPO法人若菜 参加者: 5名
- 11月27～29日: 酪農家向け@酪農地周辺
講師: 西富士山麓猟友会・静岡県森林林業研究センター 参加者: 4名
- 11月30～12月2日: 市内一般向け@国有林
講師: 富士宮猟友会 参加者: 8名
- 12月12～13日: 市外一般向け@西富士猟区
講師: 西富士山麓猟友会 参加者: 8名
- 12月16日: 静岡大学環境森林科学科実習@国有林
講師: 静岡森林管理署、静岡県森林・林業研究センター 参加者: 22名
- 1月15～16日: 自然学校向け@国有林
講師: NPO法人ホールアース研究所 参加者: 24名



地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

多彩な講師陣

- ① **専門的捕獲技術者**
狩猟経験者向けに捕獲技術向上の講習会
- ② **猟友会(富士宮猟友会、西富士山麓猟友会)の捕獲部隊**
補助者、未経験者向けの捕獲技術向上の講習会
- ③ **静岡森林管理署(林野庁)**
国有林内での現状の取り組み(講義)
- ④ **静岡県森林・林業研究センター**
捕獲技術や実態調査
- ⑤ **イズシカ問屋**
衛生的な解体処理についての研修
- ⑥ **ジビエ料理専門家**
ジビエの基礎知識と料理法
- ⑦ **ホールアース自然学校**
講習会の専門家、捕獲・解体技術





地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

わな猟技術講習会・結果

○全講習会において、全行程を実施できた(止めさし、解体まで)
○全8回: 参加者数:95名(のべ参加者数:219名)

内訳: ・参加者の20%は狩猟免許所持者(狩猟未経験)
・20~30%が狩猟免許を所得予定
・95%は男性
・年代:20代10%、30代20%、40代20%、50代30%、60代以上20%
・市内90%、県内5%、県外5%

○鹿捕獲数: 11頭(講習会での捕獲)
※講習会にかかわる捕獲を含めるとプラス20頭以上

地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム


わな猟技術講習会

参加者コメント:

- ・わなのやり方など、何も知らないでの参加でしたが、すべてが新鮮で良かった。丁寧に教えていただきわかりやすかった。
- ・実際に体験できる講習でよかった。次回もあつたら周りの人にも進めていきたいと思う。
- ・実際のわなの仕掛け方、止め刺し、解体までの一連の流れが体験できてよかった。流れがよくわかった。ひとりではなく、複数人で行う方がよいことがわかった。

〈課題と感じていること〉

- ・人手不足、関心不足。対策方法が個人や行政だけでなく地域ぐるみで行う必要があると思う。
- ・生き物との付き合い方として、守る、個体管理する、防除する、食べる、利用するなどトータルな付き合いを復活させ、その中で「ありがたみ」と「共生」とをイメージすることが大切。





地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

わな猟技術講習会

参加者コメント:
(今後の関わり方)

- ・とりあえず地元の猟友会に入り、有害駆除に参加するつもりです。また友人などを誘って若い仲間を増やしたい。
- ・自然素材として暮らしの中に皮革を活かす。ロードギルの野生鳥獣利用も含め、狩猟者のもってきた文化を継承したい。
- ・森林整備+猟期を進めていきたい。
- ・わな猟の資格を取得し、猟友会に加盟したほうがよいと感じている。実際に鹿の捕獲に関わるかはわかりませんが、富士山麓のひとつの問題として常に意識していきたい。

地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

イズシカ問屋解体研修会 @イズシカ問屋



衛生的な食肉加工や流通について学ぶ

- ①10月25日: 一般向け、参加者:7名
- ②12月18日: わな猟技術講習会受講者向け、参加者:4名
- ③1月22日: わな猟技術講習会受講者、農協職員、参加者:10名

全3回:参加者数:21名

参加者コメント:

- ・肉を解体する労力に対する対価が厳しく大変だが、効果は出てきていることが良かった
- ・このようなセンターがあれば、シカの捕獲をやるにもやりやすい。ただ、探査ベースに載せるためには民間では難しそう。
- ・鹿の頭数管理を進める上で、狩猟者のモチベーションが上がることは重要。買い取る制度は効果的。
- ・皮やツノ、肉として利用できない部位の利用法などに興味があります。今後は革のなめし方の講習会を希望します。革で靴が作りたいです。

地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

ジビエ料理研修会 @ピオス


鹿肉の特徴を理解し、料理法を学ぶ

- ①10月25日: 市内一般向け、参加者:7名
- ②12月19日: わな猟技術講習会受講者向け、参加者:4名
- ③1月23日: 飲食店関係者向け、参加者:20名

全3回:参加者数:31名

参加者コメント:

- ・調理方法によって鹿肉の味の違いを感じてくれたようで、美味しいと答えた方がほとんど。
- ・「満足」「ほぼ満足」という人が90%以上という結果。全体的に満足度がとても高かった。
- ・100g150円程度なら購入したい人が多い。中には100g300円でも買いたいという人も。


ジビエ料理研修会 参加者コメント:

(感想)

- とても面白かった。もっと鹿肉の欠点を補うような特殊な調理法があるかと思っていたので、他の肉と同じように特性にあった方法をとるという調理の仕方だったことに驚いたし、これなら肉を手さえてできれば自分でも活用していけると思った。試食もとても美味しく嬉しかった。こんなに美味しいとは思ってなかったので、これまた鹿肉料理も作ってみたいという気になった。座学での鹿肉の説明も興味深く良かった。
- 最初の講義がとてもよかった。ただの料理教室ではなく、鹿問題の出口としての提案になって良かった。終わりに鹿肉を売ったら、みんな買っていくと思う。
- 自分でも獲って処分困っている鹿肉を有利用したい。そのためにこの肉を気軽に購入できて、それを自分で料理して食べたいと思う。

(どのような使い方が望ましいと思いますか)

- 加工品(ハム、生ハム、ベーコン等)にして、富士山麓ブランドで付加価値をつけて外に売る。
- レストランだけでなくもっと簡単にたくさんの方が食べられるように、居酒屋や定食屋に鹿肉メニューがあつたらよいと思う。学校給食に取り込めたら。学校給食の「富士山の日」の給食メニューに入れてもらいたい。
- 家庭でも食べたい。鉄分の多さを考えれば健康食として女性に売れる。
- 環境教育と合わせて鹿肉を食べることを市をあげて進めていく。
- 市場に流通していれば購入したい。他の肉のように販売してほしい。



地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

「おいしい里山物語～猟師とジビエクッキング」12月16日(日)
 パルシステム静岡との協働イベント、親子向け、参加者：18名



地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

「自然学校講座～命をいただく編」12月8～9日(土日)
 野生動物環境教育プログラム、大人向け、参加者：12名



地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

「森と暮らし講座～狩猟編」1月26～27日(土日)
 野生動物環境教育プログラム、大人向け、参加者：5名



地域ぐるみ野生鳥獣シンポジウム

事業の成果

STEP②～④までの参加者合計：参加者数182名(のべ参加者数323名)


わな猟技術講習会(STEP④)：参加者数95名(のべ参加者数219名)

イズシカ問屋解体研修会(STEP③)：参加者数21名
 ジビエ料理研修会(STEP③)：参加者数31名

野生動物環境教育プログラム(STEP②)：参加者数35名(のべ参加者数52名)


STEP①については今回は事業で取り組むことはできなかった

普及活動イベント(STEP①) ⇒ 今後力を入れていく必要あり



参加者からの課題:

- 捕獲の理解が深まり、狩猟者が増えた一方で、新規な猟師が今後継続的に捕獲行為を続けていけるかが課題
- 衛生的な流通のための施設と技術の知識が深まった一方で、市内には解体施設はなく、採算をあわせていくのは厳しいのではないかと
 ⇒ 捕獲&利用を基軸に地域ぐるみで新しい価値観を創造する必要性
- 鹿肉を店や家庭で使っていきたい人が増えた一方で、鹿肉を手に入る方法がない
- 研究分野と、実際の狩猟での活動をうまくコーディネートしていく必要がある
- 現場だけでなく、行政がどのように対策・対応をしているのか、具体的に意見交換ができる場がほしい
- 野生鳥獣対策の場合は、わなの賞出無料や狩猟税の免除をお願いしたい



さいごに



- ・狩猟免許者の増加
 - ⇒講習会・研修会・プログラムを受講してくれた人の25名ほどが狩猟免許を所得(ほほわな猟)
 - ⇒加え、富士宮農協の職員が17名狩猟免許所得(うち3名は銃猟)
 - ⇒逆に、補助者の役割がしっかりと描かれていない現状を反映
- ・狩猟免許所持者が増えても、あまり登録数は増えていない??
 - ⇒金銭的、場所的、時間的な課題が多い(できない理由は捕獲技術だけではない)
 - ⇒今年度事業でアンケート調査実施予定
- ・これからの、地域ぐるみの捕獲体制の方向性の提示が必要
- ・捕獲者を増やしていく動き(数を増やす)と、専門のプロハンター(質をあげる)を増やしていく両方の取り組みが必要

